

# 鳥取県発達障がい啓発ハンドブック

## ダイジェスト版

### 🍀 “発達障がい” って??

発達障がいは、生まれつきの脳の発達特性で、脳機能の発達にアンバランスさがあるのが特徴です。発達の方は個々に違いますが、周囲が理解して日々の育ちを応援することで、成長していきます。

しつけや  
育て方が原因では  
ありません



#### それぞれの障がいの特性

説明動画はこちら



知的な遅れを  
伴うことも  
あります

#### 自閉スペクトラム症(ASD)

- コミュニケーションの苦手さ
- 対人関係・社会性の問題
- パターン化した行動、興味・関心のかたより
- 感覚の過敏さ、または鈍感さ
- 不器用さ

注) ASD・ADHD・SLD には、明確な境界線がありません。症状のあらわれ方は、年齢や状況により変化したり、重複することがあります。

#### 注意欠如・多動症 (ADHD)

- 不注意 (集中できない、ぼーっとしている)
- 多動性および衝動性  
(じっとしてられない、考えるよりも先に動く)

#### 限局性学習症 (SLD)

- 「読む」「書く」「計算する」等の能力が、全体的な知的発達に比べて極端に苦手

※ 次のように言う場合もあります。 ◎自閉スペクトラム症⇒自閉症、アスペルガー症候群を含む広汎性発達障がい (PDD)  
◎注意欠如多動症⇒注意欠陥多動性障害 (AD/HD)  
◎限局性学習症⇒学習障がい (LD)

### ペアレントメンター鳥取

〒680-0821 鳥取市瓦町601 鳥取県自閉症協会内 TEL:0857-30-0670(平日午前10時から午後2時まで)  
ホームページは「ペアレントメンター鳥取」で検索

\*ペアレントメンターとは自閉症・発達障がいの子育てを経験し、相談を受けられるよう研修を修了した保護者です。ペアレントメンターは専門家ではありません。同じ親としての視点を大切にしています。

このダイジェスト版は、鳥取県の実情を踏まえ、発達障がいハンドブックをもとに、ペアレントメンター鳥取が作成したものです。

# 自閉スペクトラム症とは？



人とのコミュニケーションや  
社会的交流が苦手

活動や興味の範囲が  
せまい

自閉  
スペクトラム症

イメージを共有  
することが苦手

アンバランスな感覚

多動や不器用

得意なこと

- 興味関心があることにはすごい集中力を発揮し、暗記が得意。
- 常識にとらわれないようなユニークな発想力がある。
- 誠実で、きまったルールや手順はきっちり守ろうとする。

叩いたり、怒鳴ったり、

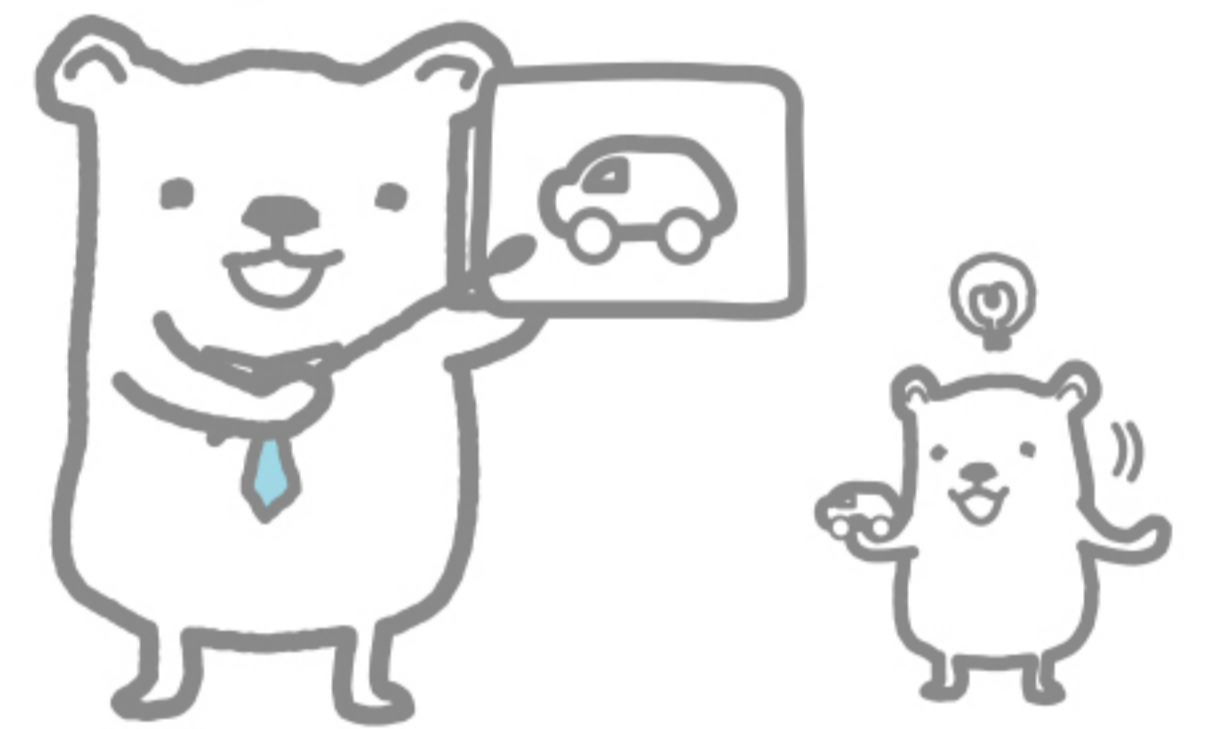
追いつめたりして叱るのは逆効果



言葉だけで難しい場合は、

その人にわかる手段を使って伝える

実物 / 絵 / 写真 / 文字 / モデルを示す など



長い文章よりも

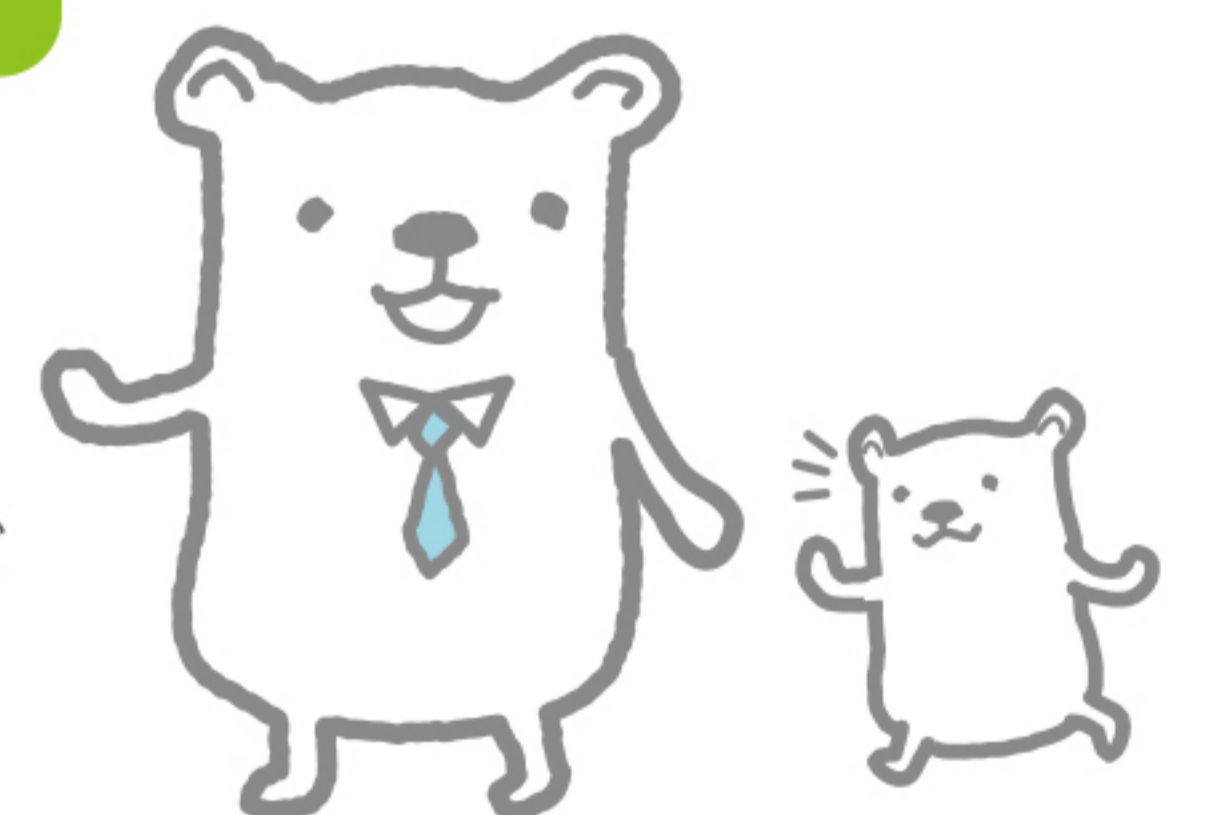
簡潔で短い文章にする



否定的でなく、肯定的に伝える

「走っちゃダメでしょ」「ちゃんとして！」よりも

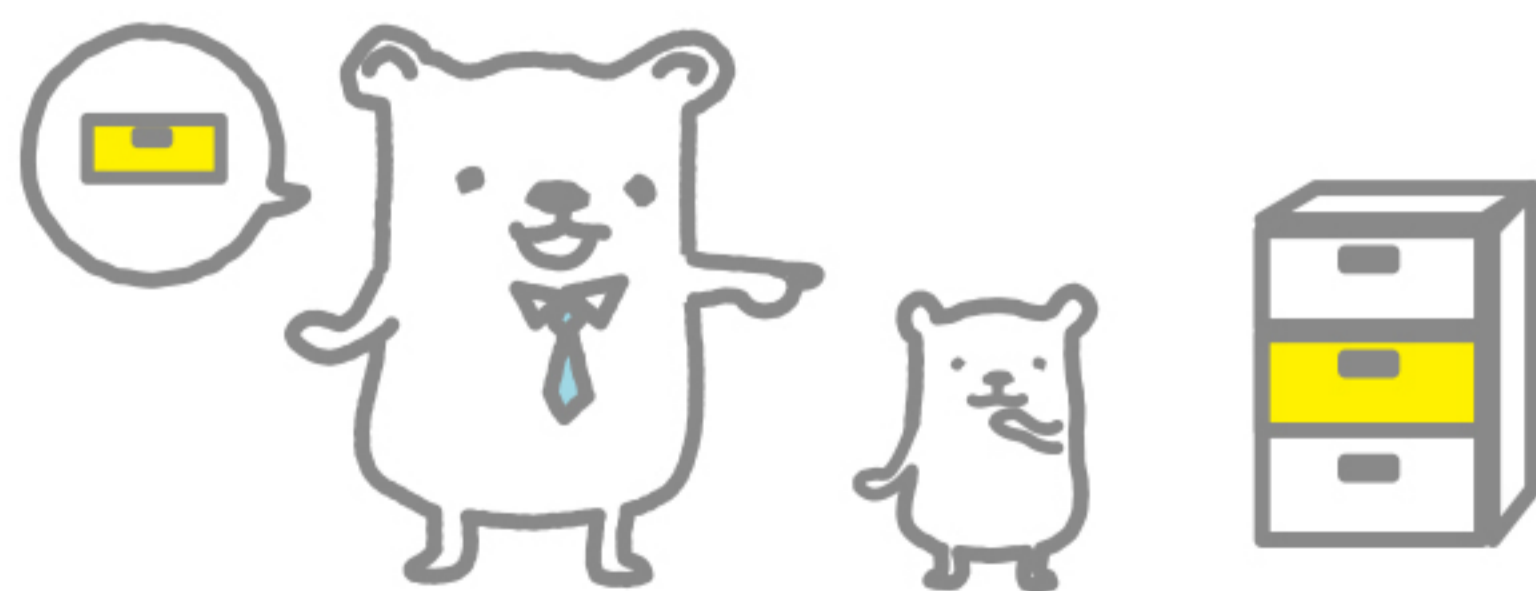
「静かに歩こうね」「こうやってするんだよ」など



抽象的な言葉よりも具体的な言葉で伝える

「ちょっと待って」「あそこにしまっ」よりも

「3分待って」「黄色の引き出しにしまっ」など

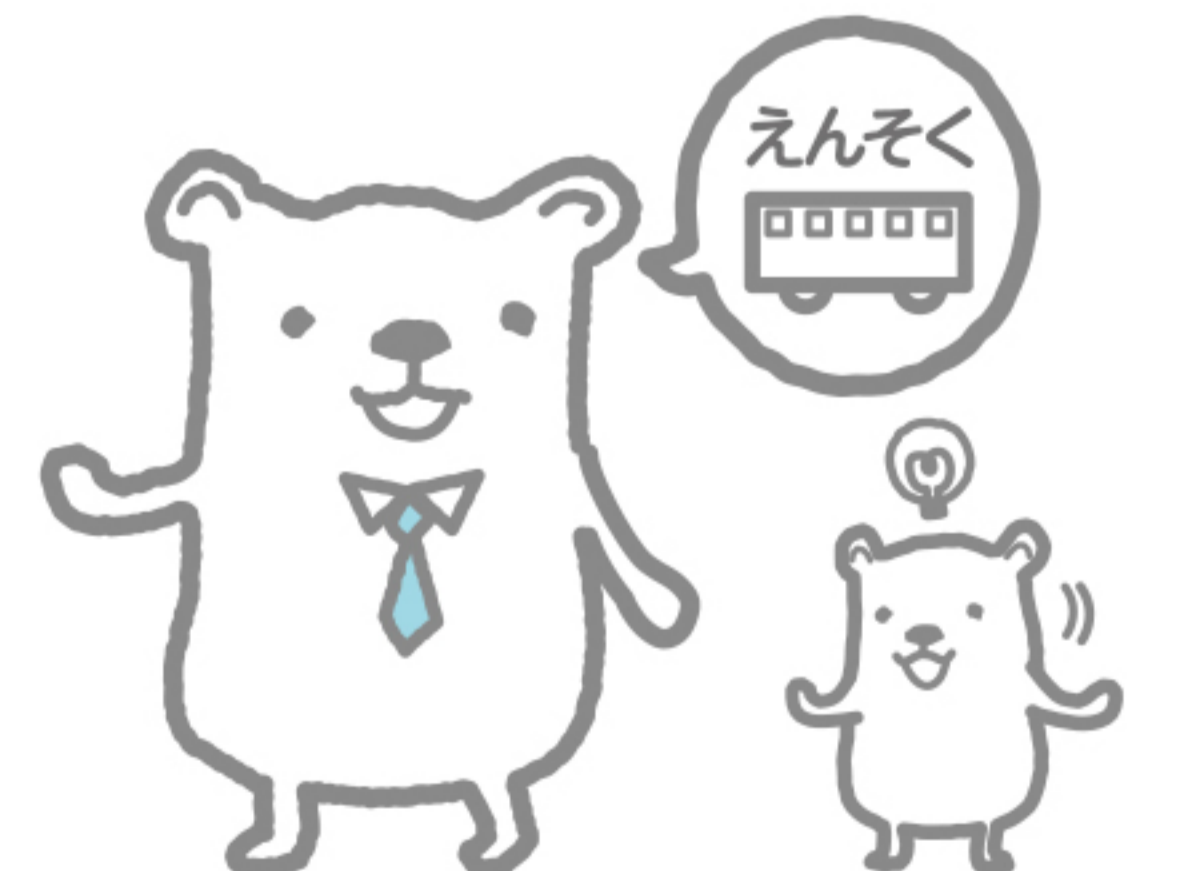


予定などは事前に伝えておく

いつ、どこで、誰と何をするのか、

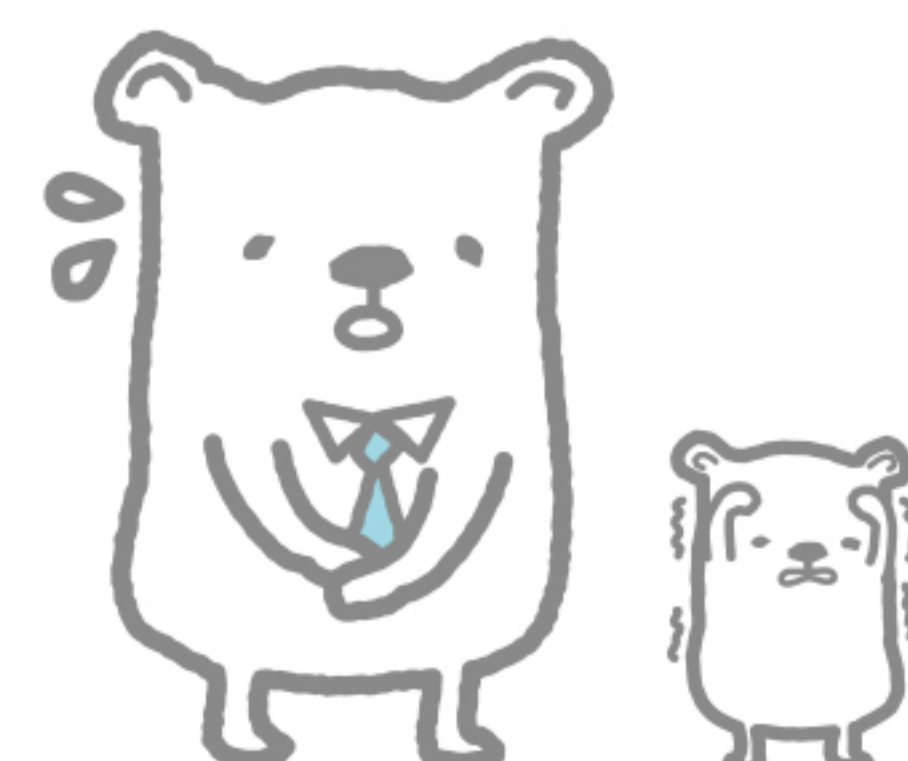
終わったらどうなるかなどが

わかると安心できます。



でも、つい感情的に怒ってしまったときは…

怒ってしまったことを謝りましょう



# “注意欠如・多動症”とは？

注意欠如・多動症の特性は「不注意」「多動性」「衝動性」の3つが特徴的です。

## 不注意

集中が続かない  
気が散り易い  
忘れっぽい



## 多動性

じっとしている  
ことが苦手で、  
落ち着きが無い



## ADHD

## 衝動性

思いついた行動に  
ついて、やっても  
いいか考える前に  
行動してしまう

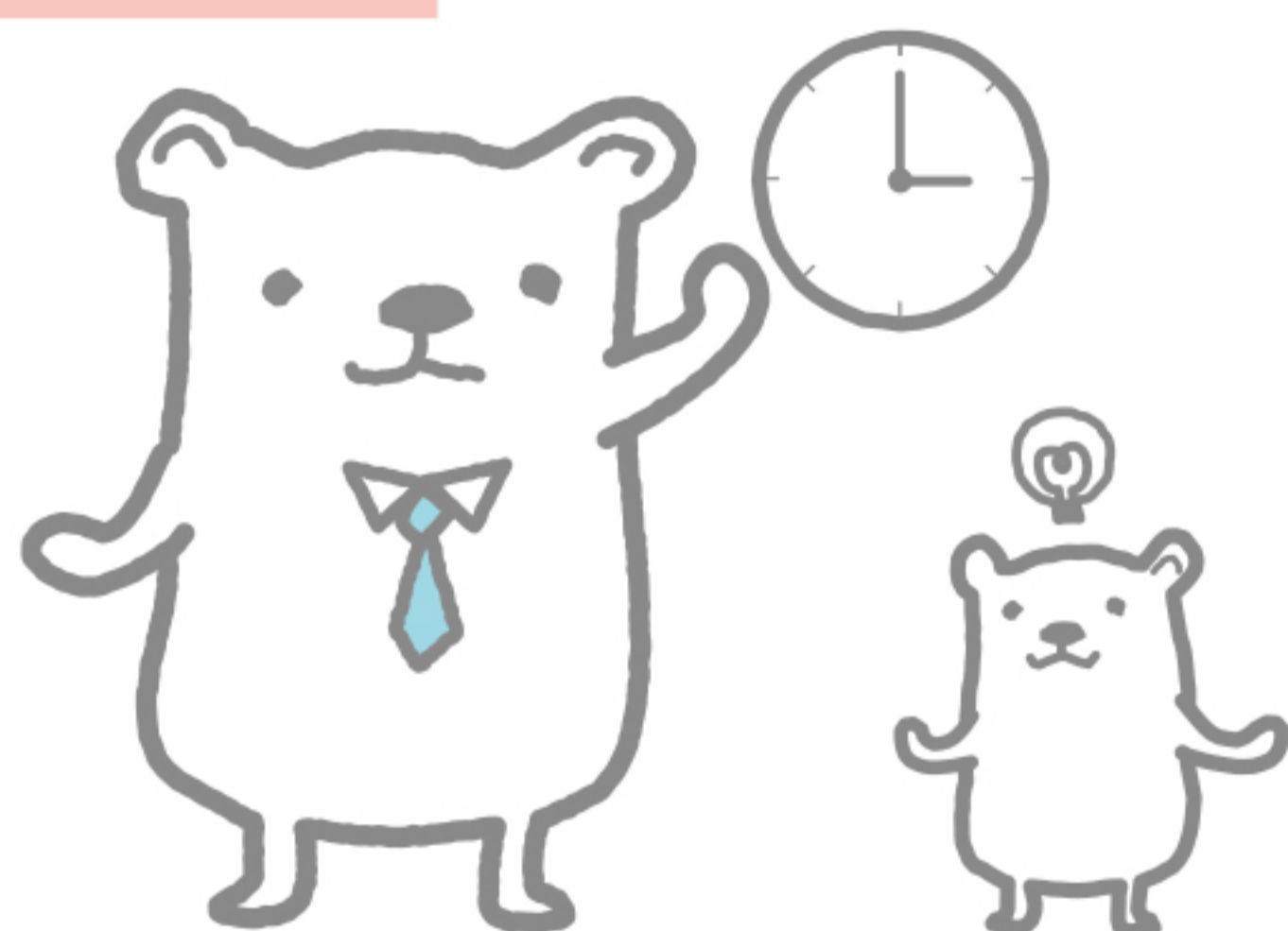


注意や興味を引き付けたり、  
気づくきっかけを増やす

名前を呼ぶなど注意を喚起してから伝える、  
指示は具体的に伝える。  
「今は何するとき？」と声をかけたり、  
メモやスケジュール、アラームを使う。など



「近づいて」「穏やかに」「静かに」  
話すとよいでしょう。



注意を高めて集中を持続させる環境をつくる

テレビを消したり、必要のないものを  
片づけるなど静かで集中しやすい環境をつくる。など

※テレビが原因ではありませんが、  
テレビは集中できる環境を阻害するので、  
必要ないときは消すことが大切です。



多動や衝動的な行動を感情的に叱るのは逆効果

注意するときは、  
「やめなさい」「何度言ったらわかるの!」と  
感情的に叱るより、  
「近づいて」「穏やかに」  
「落ち着いた声で」話しかける。など



ほめること、認めることが効果的

具体的なアドバイスをして、  
結果ではなく意欲や過程を認めてほめる。



「がんばってるね」「その調子」「すごいよ」  
「ありがとう」など

機会をとらえて、  
「大好きだよ」「大切な存在だよ」と伝え続ける。



# “限局性学習症”とは？



## 例えば…

- ひらがなの1文字ずつは読めても単語になると読みづらい
- 単語の文字を逆さに読んでしまう(例:「いか」→「かい」)など

読 字  
障 がい

- 数字や記号を理解できない
- 簡単な計算が(指を使わなければ)できない
- 九九を覚えにくいなど

限局性  
学習症

書 字  
障 がい

計 算  
障 がい

- 書き順や字形が覚えづらい
- 文字をます目や行におさめられない
- よく似た形の字、画数の多い漢字の誤りが多いなど

## 苦手なことを正しく把握する

普段の学習の様子を見て、気になったら担任の先生や特別支援教育担当の先生に早めに相談しましょう。苦手で困っていることが正しくわかれば、具体的な工夫ができます。

## 自分に合った学びを身に付ける

なぜ読めないのか、なぜ書けないのかを専門の先生と相談し、その人にあった学び方を支援していくことが大切です。

## 苦手を補うツールを使う

将来的には、計算機、パソコン等その他の電子機器を活用して苦手を補う方法もあります。

読むことが苦手な場合…ふりがなをふる。

行間を空ける。

単語や文節に区切り線を入れる。

本の読み聞かせなどで語彙を増やす。など



鳥取県では、発達障がいについて「知ろう」「気づこう」「支援しよう」をコンセプトに、リーフレット、ハンドブック、DVDを作成しています。より詳しく知りたい方は

鳥取県子ども家庭部 子ども発達支援課ホームページ  
<http://www.pref.tottori.lg.jp/kodomohattatu/>  
をご覧ください

鳥取県子ども家庭部 子ども発達支援課

〒680-8570 鳥取市東町1丁目220 TEL:0857-26-7865 FAX:0857-26-8136

E-mail kodomoshien@pref.tottori.lg.jp